

これからの活動(イベント)情報

産学官連携推進研究協会の今後の活動予定をお知らせいたします。ご興味をお持ち頂けたイベントにはぜひご参加下さい。

12月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修 (第41回) 数値流体力学の基礎

日時 12月8日(月) 17:00~19:00 場所 産学・地域連携センター VBL オフィス
講師 工学研究院 尾形 陽一 准教授

1月

1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修 (第42回) 数値流体力学の工学的応用に向けて

日時 1月13日(火) 17:00~19:00 場所 産学・地域連携センター VBL オフィス
講師 工学研究院 尾形 陽一 准教授

これらの情報は、HPをご覧ください。 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/sangaku/>

産学官連携推進研究協会についての入会方法および活動情報の URL は <http://kyoryoku.hiroshima-u.ac.jp/> をご参照ください。

お知らせ 広島大学研究成果集発行について

このたび、本学教員の研究成果の概要をとりまとめた「2014年度版広島大学研究成果集」をデジタルブック形式にて出版しました。「ライフサイエンス系」(187件)、「理工学系」(「環境・エネルギー」「ものづくり、製造」「材料・デバイス・装置」「機械」「建築・土木」「情報・通信」「計測・分析」の分野を含む) (97件)、「社会科学・人文化学系」(70件)の3部構成です。

本成果集により、広島大学の研究成果を広く紹介し、産学官連携の強化を図るとともに、さらなる研究のレベルアップを図りたいと考えます。産業界との連携推進のツールとして活用し、共同研究・技術移転など会員の皆様との更なる連携を進めたいと考えております。ご一読頂き、ご関心のあるテーマ・研究者がございましたら、是非ご一報頂ければ幸いです。

<http://scatalog.hiroshima-u.ac.jp/files/ebook/results2014-1/> 「ライフサイエンス系」
<http://scatalog.hiroshima-u.ac.jp/files/ebook/results2014-2/> 「理工学系」
<http://scatalog.hiroshima-u.ac.jp/files/ebook/results2014-3/> 「人文・社会科学系」



研究員紹介 no. 02

研究員を紹介致します。第2回は池田弘昭氏。



池田 弘昭 Hiroaki Ikeda

担当業務：経済産業省より受託の産学連携評価モデル実証事業の推進
「レーザ高度応用研究会」の実証試験担当

職歴と技術分野：
・コニカ(現在コニカミノルタ)にてプリンター開発に携わった後、三菱重工業にて光学関連技術開発に携わる、現在、広島国際大学非常勤講師

【専門】プリンター関連技術、光学応用技術
【資格】小型船舶2級

ひとこと：
やるべき事よりやりたい事。
やりたい事を一緒に探して行きましょう。

TEL : 082-424-4309
E-mail: hiroaki@hiroshima-u.ac.jp

編集後記

10月に初めての北海道旅行へ行って参りました。ラーメン、ジンギスカン、海鮮丼、スープカレー、お寿司、ソフトクリーム……と、何を食べても外れ無しの充実した旅行でした。心なしか一回り大きくなったと感じるお腹まわりを見ながら、楽しかった旅行を思い出す今日この頃です。(T.N)



発行：産学官連携推進研究協会事務局 (広島大学社会連携推進機構 社会連携グループ内)
〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL : 082-424-6031 / FAX : 082-424-6189 / E-mail: syakai-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp
お問い合わせ先：広島大学 産学・地域連携センター 国際・産学連携部門
〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL : 082-424-4302 / E-mail: techrd@hiroshima-u.ac.jp

Contents

- ❖ イノベーション研修プログラム特集 1
- ❖ アンケート結果 2
- ❖ 活動報告(9~10月) 2
- ❖ これからの活動(イベント)情報 4
- ❖ 研究員紹介 4
- ❖ 編集後記 4



地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム特集

中国新聞に 掲載されました!

広島大学フェニックス協会の「イノベーション研修プログラム」が、平成26年10月25日付の中国新聞朝刊に掲載されました。「地域とのつながり」をキーワードに、産学連携研修として地域の会員企業向けに月1回の研修を行っている旨が紹介されたものです。

今回の「つながる」では、イノベーション研修プログラムを特集。今後より多くの会員企業の皆様にご参加頂き、少しでも技術力向上等に貢献出来たらと思います。

技術力向上 知で下支え

■産学連携研修

10月半ばのアフターファイブ、広島県内の企業の技術者26人が、東広島キャンパスの一室に集まった。大学院工学研究員の池田教授の講義に耳を傾け、熱心にメモを走らせていた。

広島大が「産学官連携推進研究協会」のイノベーション研修プログラム。協会の会員(9月29日現在、131団体・人)向けに、ものづくりに役立つテーマを設定し、月1回、無料の講義を開いている。

この日のテーマは回転機械に発生する振動について。船舶用ポンプ製造のシンコー(広島市南区)で蒸気タービン

の設計に携わる伊崎浩一さん(39)は「タービンのトラブルと振動は切っても切れない関係。今回は良い機会だった」と感想を述べた。

プログラムは地域産業への貢献を目的に2011年に始まった。参加するのは、仕事に追われがちな若手、中堅クラスの技術者。こまごまと取り上げるテーマは「歯車の強度設計」「環境負荷低減のための気体分離膜開発」など幅広く、受講者や経営者から「視野が広がる」と好評という。

「実社会での実務と大学で

池田教授「手前」の講義を熱心に聞く受講者



学んだことのキャップを埋める場になれば」と産学・地域連携センターの鬼頭幸三・産にも関わっている。

中国新聞 (2014年10月25日)

地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム 概要

対象者: 広島大学フェニックス協会会員企業の若手～中堅クラスの技術者の方
登録者数: 累計 183名 (平成26年10月31日現在)
日時: 毎月第二月曜日 (祝日等の場合は翌日) 17時～19時
場所: 広島大学 VBL オフィス2階セミナー室
受講費用: 無料

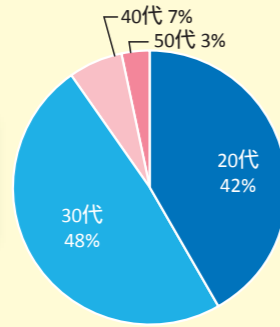
<特徴>

- ・多忙な日常業務と両立させ、時間的にフレキシブルな利用が可能
- ・ものづくりに有用な、系統のかつ継続的な研修の機会を提供
- ・大学の幅広い人材と接点を持ち、大学における人脈形成が可能
- ・協会員に無料で提供

地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム アンケート結果

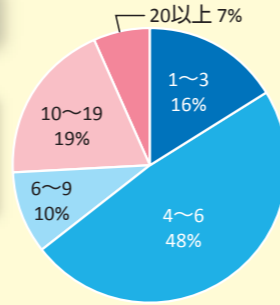
Q1-1 受講者年齢

受講者の90%を20～30代が占める



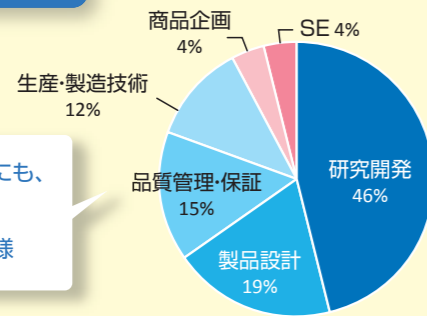
Q1-2 受講者在職年数

受講者の約70%が在職年数10年未満



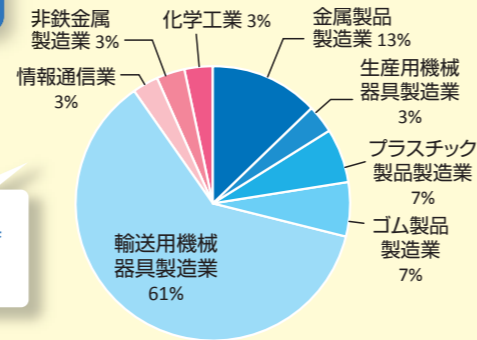
Q2-1 受講者職種

研究開発以外にも、製品設計・品質管理等多様

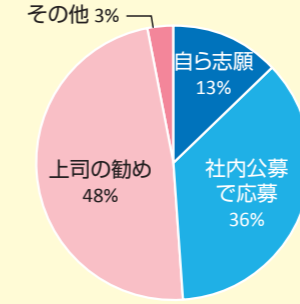


Q2-2 受講者業種

輸送用機械器具製造が大半

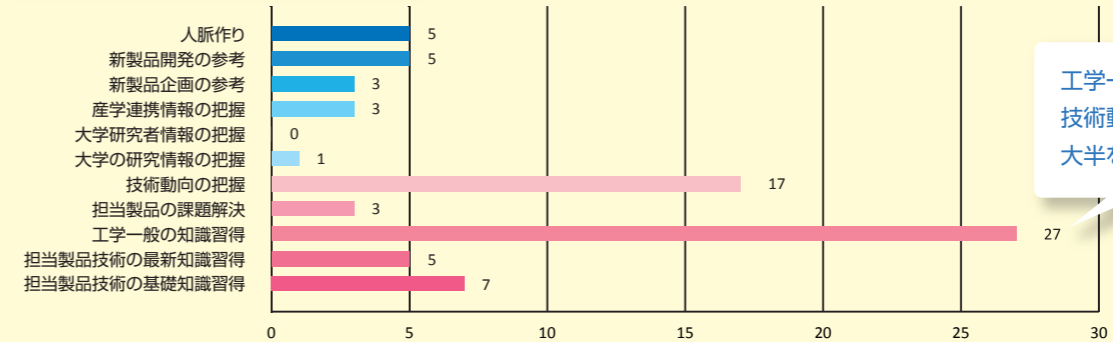


Q3 研修参加の経緯



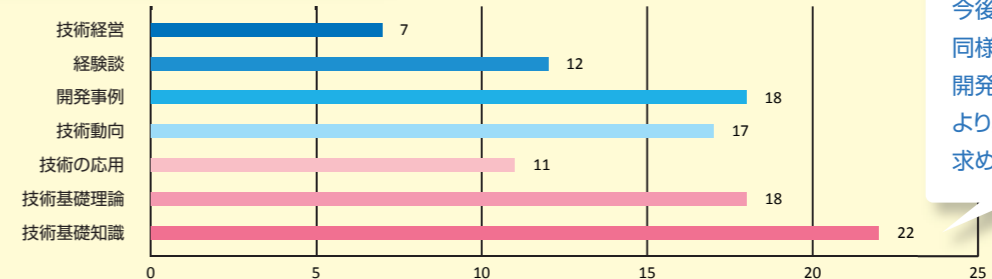
上司の勧め、社内公募といった研修参加への組織的な支援体制が窺える

Q4 研修参加の目的(複数回答可)



工学一般の知識習得、技術動向把握が大半を占める

Q5 今後希望する研修内容(複数回答可)



今後の希望も同様の傾向だが、開発事例のように、より具体的な内容も求められている

活動報告 (9～10月)

Report 1 地域企業若手技術者向けイノベーション研修プログラム

第38回 (平成26年9月16日) の講師は、前回に引き続き工学研究院の山本透教授。「[制御技術]を使う」と題して研修を行いました。基本的なフィードバック制御技術であるPID制御は産業界で最も広く使用されている制御技術です。本研修では、このPID制御を取り上げ、PID制御器の基本構造、ならびにPID制御系の基本的な設計法を解説すると共に、実験システムを用いた設計演習を通して、一通りの制御系設計法(設計手順)を学習しました。

第39回 (平成26年10月14日) からの講師は、工学研究院の池田隆教授。「回転機械の振動(I)」と題して研修を行いました。

簡単な回転軸系(ジェフコットロータ)におけるたわみ振動と傾き振動を対象とし、回転軸系の固有振動数、ジャイロ作用、不釣合い応答について解説しました。



イノベーション研修 38回



イノベーション研修 39回

第1回レーザー高度応用研究会開催報告

平成26年9月17日(水)10:00より、広島大学産学共同研究オフィスにて、第1回レーザー高度応用研究会が開催されました。本研究会は、経済産業省「平成26年度産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業(モデル実証事業)」の採択を受けまして、レーザー加工分野に幅広く応用する事を目的として設立したものです。

第1回研究会には、計34名(21機関)のご参加を頂き、各会員企業の研究テーマを発表頂いた後、研究会の運営方法について活発な協議を行いました。本研究会では、10月よりYAGレーザーを用いた実験を既に開始しており、今後はCO₂レーザーやTmレーザーも導入して会員企業の要望に応じた様々な実験を行う予定です。

